

～平成29年度第2回コア会議が開催されました～

平成29年11月16日（木）に「公園マネジメント会議 平成29年度第2回コア会議」が、児童総合センターにて開催され、15名のコア会員の出席がありました。

「公園マネジメント会議のポテンシャルを高めよう！」と題し、会員全体で公園マネジメント会議の活動を盛り上げていくために、コア会員が日々感じている課題を共有し、その解決策について話し合いました。



公園マネジメント会議のポテンシャルを高めよう！

（討議）

（1）公園マネジメント会議のポテンシャルを高める方法を考えよう！

- ・現在、感じている課題を確認し、解決策をグループで討議しました。

（2）総会に向けての取りまとめ

- ・討議内容を取りまとめることが出来なかったため、コア会議で議論している内容や、その進捗を総会の場で会員全体と共有することとする。

全員で協力すれば
公園をもっと楽しく
出来そう…

活動に誘いたいけど
誰を誘っていいか
わからない…

他にも…

どうすれば
多くの人が協力して
活動できるか…

コア会員が感じる課題



①分科会への参加義務化については、他の方法も含めて継続審議とする。

決議をとった結果、賛成6名、反対4名、保留5名という結果となり、慎重な判断が必要なため、今後も会員の活動への参加を促す方法について、継続して審議していく。

＜グループの意見＞

- ・分科会参加の義務化ではなく、**全会員に参加義務がある「イベント」を1年に1回開催**してはどうか。
- ・会費を集めるなどして、活動に参加しなければ少し損をするという状況をつくってはどうか。**参加を義務化するのではなく、参加への意識を誘導したい。**
- ・参加を義務化する場合に、現状で分科会活動や、その他のマネジメント会議の活動に参加できない会員は、**参加できない理由や困っていることがあれば教えてほしい。**

＜その他意見交換＞

- ・強制的に分科会に入ること、本当に活動が活発になるのかわからない。
⇒緑化フェアの実績があり、声をかければ何らかの形で活動に参加してくれようと考えている。
- ・分科会参加の義務化の趣旨は、少人数で集まることができるコミュニティをつくり、互いに声をかけやすい関係をつくるのが目的でもある。
- ・分科会そのものの見直しも必要である。具体的に、どう見直すかは検討を進めたい。



②会員の情報や得意分野のわかる「名簿」を作る。

緑化フェアの時の会員名簿をベースに、新会員さんの情報を追加した、最新版（2018年）の名簿をホームページに掲載することとする。公開にあたり、個人情報は除く。

＜グループの意見＞

- ・名簿は、**活動している分野別にグループになっていると利用しやすい。**

＜その他意見交換＞

- ・分科会の活動をまとめたリストも作成できるとよい。

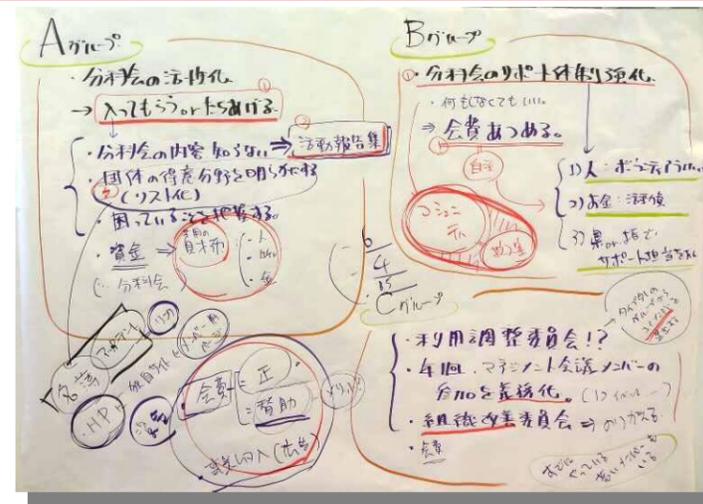


③会費等の自主財源の獲得について、継続審議及び情報収集を行う。

会員から会費を集めることや、その他の手段による自主財源の獲得は継続して審議していく。どのような枠組みやルール設定が出来るのか、県として情報収集をしていく。

＜意見交換＞

- ・公園内に民間の広告を設置し、その広告収入をマネジメント会議が得られる枠組みがあるとよい
- ・一般の方を賛助会員として募集してはどうか。賛助会員は「モリコロ会員」として、何かメリットがあるような仕組みを考えられるとよい。
- ・資金を管理する受け皿となる組織については、継続して検討が必要になる。



知ってましたか？〇〇 & 分科会活性化プロジェクト

- ・「万博村の会」より活動報告がありました。
- ・「万博サンパフェスティバル分科会」より活動報告と来年の活動に向けた報告がありました。

万博村の会

※写真は第1回コア会議より

2005年10月から活動開始。
愛・地球博パビリオンのアテンドをしていたメンバーが所属しているのが特徴の1つ。
ハロウィンイベントなど様々な活動を行ってきている。



万博サンパフェスティバル分科会

「第2回万博サンパフェスティバル」は「シャラ万博カーニバル」に名称変更し、来年の8月に開催する。今年の反省を踏まえ、もっと多くの人を巻き込んでいきたいので協力をお願いします！



お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 杉山
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 加納
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150